

大学病院 勤務の臨床検査技師の1日（就職17年目）

8:00	出勤	車で通勤しています。10分ほどで到着します。
8:30	午前勤務	検体検査室は配属スタッフが多く、夜勤入り明け、代休、時短勤務など勤務形態が複雑なため、朝礼を行いその日の連絡事項・引継ぎを行います。 午前中は外来や病棟からの検体数が多いため、迅速に検体処理を行い検査結果が早く報告できるように努めています。
11:30	昼食	お昼休みは、同じ分野担当者と交代で取ります。 手作りのお弁当だったり、売店で購入したりしています。
12:30	お昼当番	お昼を交代したスタッフの休憩が終了するまで、担当検査を掛け持ちして行います。
13:30	午後勤務	外来や病棟の骨髄採取後、末梢血液像や骨髄像の検査を行います。 尿定性や血算、凝固など自動分析装置を担当した時はメンテナンスを行い夜勤体制に整えます。 勤務シフトの調整と教育を行います。
17:15	カンファレンス セミナー	週に1回血液内科のカンファレンスに出席し、骨髄検査の所見を説明します。 部内のセミナーに参加します。 研究活動や学会発表の準備を行います。
18:30	退勤	退勤後は子供たちを迎えに行ってから帰宅します。 基本的に買い物は週末ですが、足りない物は買いに行ってから夕食を作ります。



2つの検査室異動を経験し、現在は検体検査室に配属されています。

産休・育休取得後復帰して勤務しています。子供が小さいため時間外勤務は免除されていますが、月に1回（1週間）のオンコール対応をしています。

大学病院で行う検査項目は多いため、難しい症例でも様々な検査結果が早く分かり病態を理解しやすく、とても勉強になります。検査結果から迅速に必要な検査の追加を提案したり、臨床医から検査の相談を受けて適切な対応ができたときにやりがいを感じます。特に骨髄検査などの形態所見が重要な検査では臨床検査技師としての的確な判断が必要であるため、やりがいと同時に情報収集や継続的学習の必要性を感じています。土日に開催される勉強会やWEBセミナーに参加して勉強しています。

市立病院 勤務の臨床検査技師の1日（就職2年目）

7:30	出勤	車で通勤しています。25分ほどで到着します。
8:15	始業・ミーティング	当日の仕事内容や、連絡事項の確認をします。
8:25	病理の当番業務	切り出し、薄切、染色など、その日の自分の当番の仕事を行います。 手術で摘出された検体を、薄く切ったり染めたりして顕微鏡で見られる標本にしていきます。
12:30	昼食	仕事のきりが良いところで、お昼休みを取ります。 私の病院ではお弁当を頼んで配達してもらうことができるので、そのサービスを活用しています。
13:30	病理の当番業務 (検体処理など)	当番の業務の続きや、午前に採取されて届いた検体の処理などをします。 午前中に作製した標本が出来上がってきたら、病理医の先生に渡して診断してもらいます。
15:30	診断書整理 翌日染める標本の薄切	病理医の先生が発行した診断書を整理し、追加でオーダーされた免疫染色用の標本を薄切します。
16:45	片付け	翌日の業務がスムーズに進むよう、器具の準備をしておきます。
17:00	退勤	退勤後は買い物をして帰ります。仕事が残っていれば残業することもあります。 帰宅してからは趣味に使う時間を取っています。 認定資格のために勉強もします。

病理検査室に配属されています。

月に2回ほど日当直業務があり、日直は土日の8:15~17:00または7:15~16:00、当直は平日の場合は8:15~翌8:15までの勤務、土日は17:00~翌8:15)になります。

細胞検査士の資格を取りたいので、勉強中です。



クリニック 勤務の臨床検査技師の1日（就職1年目、卒後5年目）

8:45	出勤	車で通勤しています。40分ほどで到着します。
8:55	朝会、準備	連絡事項の確認をし、超音波装置の準備や健康診断の物品準備を行います。
9:00	健康診断	健康診断を行います。身長・体重・腹囲・採血・心電図・胸部レントゲン・視力/聴力検査等、依頼用紙に従い検査します。
10:00	検査業務	クリニックが在宅で診ている患者さんや一般外来の患者さんの、一般的な生理機能検査を行います。在宅の患者さんは、歩ける方からストレッチャーの方までいらっしゃるので、個別の対応が必要となります。 採血、心臓・腹部・下肢静脈・頸動脈・甲状腺と幅広いエコー検査、心電図、ABI(動脈の狭窄や閉塞を調べる検査)、呼吸機能検査などを行います。
12:30	昼食	看護師たちとタイミングを見てお昼休憩に入ります。外食することもあります。
14:00	ワクチン業務	新型コロナウイルスやインフルエンザ等のワクチンの案内をします。 医師や看護師がスムーズに問診・接種できるように患者さんを誘導します。
14:30	一般/発熱外来業務	一般外来の他に、発熱外来で新型コロナウイルスやインフルエンザ等抗原検査やPCR等の検体採取業務を行います。
18:00	退勤	機械の片づけや掃除等を行ってから、次の日の検査予約を確認して、退勤します。



クリニックなので、検査技師は私1人です。そのため、技師がエコーで手一杯の時は看護師が心電図や呼吸機能検査を行うことがあります。また、放射線技師不在のため、レントゲンやCTの位置のセッティングや撮影条件を設定し、医師が撮影するための補助を行っています。主に看護師と協力しながら外来および在宅の検査を行っています。

生理機能検査業務だけでなく検体検査、痰・便培養や細胞診などのオーダーも入るので、外注先とやりとりしながら適切な検体採取を行います。

問診などの慣れないことも多々ありますが、学びながら楽しく働いています。

健診センター 勤務の臨床検査技師の1日（就職15年目）

8:00	出勤	電車で通勤しています。30分ほどで到着します。
8:40	健診業務	健康診断の受診者さんの検査を行います。 腹部超音波、身体計測、心電図、採血、呼吸機能検査などを行っています。
13:00	休憩	同僚と昼食をとります。 周囲に飲食店が多いので、外出やテイクアウトも可能です。
14:30	健診業務 事務作業	午後の健康診断を行います。 合間に翌日以降の受診者の準備、検査結果報告書の作成など事務作業を行っていきます。
17:00	退勤	育児のため時短勤務中です。 退勤後、保育園のお迎えに行きます。



海外赴任や留学、ビザ取得用の健診センターに勤務しています。

海外のお客様がいらっしゃった際は、英語で対応することもあります。

育児のため仕事に制限がかかることもありますが、限られた時間を有効に使い、向上心を忘れないようにしたいと思います。

検査機器メーカー(学術職) 勤務の臨床検査技師の1日(就職1年目)

8:30	出勤	電車で通勤しています。15分ほどで到着します。 到着後はメールや当日のスケジュールの確認を行います。
9:00	朝会議・情報共有	所属部署内のミーティングや全国の営業所向けの情報共有の会議に参加します。
10:00	内勤	お客様の施設で取得したデータの解析や製品紹介資料などを作成します。 時間が確保できた際は社内の学習ツールを利用して製品知識や学術知識の勉強をしています。
11:30	昼食	昼食はお店の混雑を避けるために早めに食べに行きます。 基本的にオフィス近くの飲食店で先輩たちと一緒に昼食をとります。
12:30	外勤(施設訪問)	事前にアポイントを取得した施設へ向かい、お客様のお困りごとへの対応や自社製品のデモ等を行います。営業部門と協力して自社製品の魅力を十分にお客様へ紹介できるように心がけています。
17:00	施設訪問終了	施設訪問終了後は車や電車でオフィスに戻ります。訪問時間が遅くなったときは直帰することもできます。オフィスに戻ったあとは、日報を作成したり事務処理をして翌日の業務がスムーズに開始できるように準備をします。
17:45	退勤	定時で退勤できる日は買い物をして自炊しています。 タイミングが合えば先輩たちと飲みに行ったりもします。

検査機器メーカーの学術職として勤務しています。

学生時代に学んだ臨床検査の知識を活かせる場面は多いと感じています。
学術職という立場上、お客様から頂く問い合わせは難しい内容が多いので日々勉強して期待に応えられるように努力をしています。



SMO（治験施設支援機関） 治験コーディネーター（CRC）

勤務の臨床検査技師の1日の業務例（就職2年目）

9:00	出勤	電車、バス等で1時間ほどかけて出勤しています。（勤務する病院の場所によります）
9:30	患者対応 医師への署名依頼等	患者さんが来院されたら一緒に検査を回ったり、治験薬を渡したりします。 空き時間や患者対応終了後、医師に書類の署名などを依頼します。
12:00	昼休憩	午後の患者さんの来院状況、医師の診察状況を確認しながら昼食をとります。
13:00	患者対応 医師への署名依頼等	午前中と同様
15:00	製薬会社等への対応	必要に応じて製薬会社等とメールや電話で連絡をとります。 施設に資料などの確認に来ている製薬会社等からのフィードバックを受けます。
16:00	患者対応後の記録整理 翌日準備	対応した患者さんの記録整理を行います。 翌日に予定されている患者さんの検査に必要な資材や書類の準備をします。
16:30	検体の発送	採取された患者さんの検体の発送をします。
17:00	翌日準備 医師署名依頼 申し送り	翌日の準備の続きをします。 医師の診察後、必要な書類への署名を依頼します。 翌日患者対応する人への申し送りをします。
18:00	退勤	翌日の勤務場所を確認の上、退勤します。



治験とは、製薬会社が開発した新しい薬の安全性や効果を患者さんの協力によって評価する試験のことです。

CRCは、医療機関・製薬会社・患者さんの間に立ってこの治験がスムーズに進むように調整する仕事です。

決まった病院に勤務するCRCとSMOといわれる企業に勤務するCRCがおり、後者はいくつかの医療機関を掛け持ちしながら業務を行うことが多くなります。

施設や試験内容によってルールや疾患・治験薬が異なるので、頭の中を整理して業務をする必要があります。

また、毎日関わる院内のスタッフ、患者さんが異なるのでコミュニケーションを密に取り、連携をとりやすい関係の構築が必要となるので、気を配りながら業務に取り組んでいます。

大学教員（助教）の臨床検査技師の1日（着任8年目、卒後15年目）

8:00	出勤	車で通勤しています。25分ほどで到着します。
8:15	メールチェック	コーヒー片手に勤務開始。
8:30	講義資料作成・実習準備・実験・ 研究費申請書／報告書作成・学会 発表準備・論文作成など	締切が近いものから順番に、時に並列で片づけていきます。 合間を縫って実験もスケジュールリングします。 週に1日（午前中）は附属病院臨床検査部で臨床検査技師として心臓超音波検査を兼業しています。
12:00	昼食	お昼休みは研究室で。 手作りのお弁当だったり、売店で購入したりしています。
13:00	遺伝子検査技術学実習	2コマ連続での実習です。 実習準備や試薬作りは前日までの空き時間で行います。
16:30	研究ミーティング	教授や大学院生、卒業研究の4年生と進捗状況を共有します。 進路相談を受けることも。
17:30	メールチェック	こまめにチェックしないと未読メールがどんどん溜まります。
18:00	退勤	退勤後は家族のために買い物と夕飯の用意をします。 緊急連絡がないか、夜のメールチェックも欠かせません。

教員になる前は、大学病院で臨床検査技師として7年間遺伝子検査や生理機能検査を行っていました。

大学教員は裁量労働制なので、日によって退勤時間は変動します。

学会参加、研究打合せなどで全国を飛び回る日も。

他に、4年生の担任補佐業務、実習試薬の管理、入試業務、同窓会事務局など業務内容は多岐に渡ります。

土日は、県技師会研修会主催の研修会のお手伝いをすることもあります。

月2回程度の音楽活動でリフレッシュしています。

